

■講演要旨

「光る君」が愛した王朝ブランド品

—平安時代の暮らしと国際交易—

千年前の平安時代に「唐物」と呼ばれる舶来ブランド品がありました。沈香、瑠璃壺、秘色青磁、唐綾、貂皮などです。「唐物」は、天皇や貴族たちのステイタス・シンボルとして人々の憧憬を集め、「源氏物語」においても「光源氏のカリスマ性」と「女君たちの個性」を際立たせています。

NHK大河ドラマ「光る君へ」を振り返り、「唐物」から華麗な王朝文化の世界をご紹介します、平安貴族の暮らしや当時の国際交易に思いを馳せていただければ幸いです。

■講師プロフィール

あ講師：東京学芸大学名誉教授 河添（須賀）房江

略歴 東京大学文学部卒

同大学院博士課程単位取得 博士（文学）

元東京大学大学院客員教授・一橋大学大学院連携教授

近著 『唐物の文化史』（岩波新書）

『紫式部と王朝文化のモノを読み解く』（角川ソフィア文庫）

『源氏物語を読むための25章』（武蔵野書院）

『新訂枕草子 上・下』（角川ソフィア文庫）

監修 NHK総合「歴史探偵 光る君へコラボスペシャル2 源氏物語」(8月28日)

NHK教育「歴史デリバリ 源氏物語はなぜ1000年も読み継がれたのか？」

(1月8日)

BS11「偉人・敗北からの教訓～紫式部」(11月9日)

